



条件を強制することによって、金銭的支援は効率的にエンロールメントを改善する



Pierre Holtz | UNICEF | School children in the Central African Republic, [CC BY-SA 2.0](#)

金銭的支援は学校へのエンロールメントと出席を改善するが、厳密にモニターされ、教育に関連した条件が課される場合には、より効率的になる。

このレビューの目的は何か？

このキャンベルシステマティックレビューは、低中所得国において、条件付きの金銭的支援プログラムと、条件付きでない金銭的支援プログラムが、教育のアウトカムに対して持っている影響を評価している。このレビューは35の研究の知見を要約している。

金銭的支援は、それが条件付きのものであろうが、そうでなかろうが、学校へのエンロールメントと出席を改善させるが、学習のアウトカムに対する効果については限られたエビデンスしか存在しない。条件が監視・強制される場合には、エンロールメントへの効果は増大する。

何についてのレビューか？

多くの国々において、初等教育へのエンロールメントは未だユニバーサルではない。サハラ以南のアフリカの多くの国々においては、20パーセント以上の子供たちが学校に出席しておらず、また、エンロールメントできている子供たちのうち3割は六年を修了する前にドロップアウトする。中等教育へのエンロールメントはさらに低いものである。多くの国々において、半分以下の子供たちのみが中等教育に参加している。また、教育の質は低く、多くの子供たちは何年か通学したのちにも識字能力、数学の技術が低い。

貧しい家庭をターゲティングした金銭的支援プログラムは、低いエンロールメントに対処するポピュラーな方法である。学校に行くための条件付きの金銭的支援プログラム（CCTs）は貧しい家庭に提供されており、学校に通う年齢の子供たちがエンロールメントと学校への出席を達成する助けとなっている。条件付きではない金銭的支援プログラム（UCTs）は条件に基づかず提供される。

このレビューの主要な発見は何か？

含まれる研究は何か？

このレビューのうえで適格な研究は、条件付きの金銭的支援プログラムか条件付きではない金銭的支援プログラムのどちらかを評価しているものであり、条件付きの金銭的支援プログラムとは最低でも一つの学校への参加と明確に関係する条件を含むものである。報告されたアウトカムには、エンロールメント、出席、試験の成績について、少なくとも一つの量的な指標が含まれていなければならなかった。

35の研究はこのレビューには含まれる。5つはUCTsについてのものであり、26はCCTsについてのものであり、4はCCTsとUCTsを直接比較したものである。

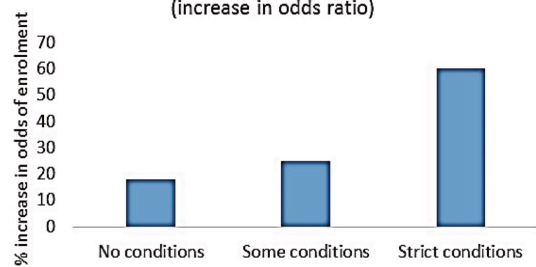


By Godot13, CC BY-SA 3.0

金銭的支援は教育のアウトカムを改善するか？

条件付きのもの、条件つきではないものの両方の金銭的支援プログラムが、そういったプログラムのない場合と比較して、エンロールメントを増加させた。しかし、学習のアウトカムに対してはせいぜい小さな効果があるのみである。ただし、学習に関するエビデンスベースは小さなものである。

The stricter the conditions the larger the impact of cash transfers on enrolments (increase in odds ratio)



この研究がいかに最新のものか？

このレビューの著者は2013年4月までに発表された研究について調査した。また、このキャンベルシステムティックレビューは2013年9月に発表された。

キャンベルコラボレーションとは何か？

キャンベルコラボレーションとは、国際的であり、自発的であり、非営利の研究ネットワークで、システムティックレビューを出版している。我々は社会科学や行動科学のプログラムのエビデンスについて要約し、その質を評価している。我々の目的は、人々がよりよい選択をすること、よりよい政治的決断をすることを助けることである。

この要約について

この要約は、Howard White (キャンベルコラボレーション) によって準備されたものであり、キャンベルシステムティックレビュー2013：8「発展途上国における条件付きの金銭的支援プログラム、および条件付きではない金銭的支援プログラムが、学校教育でのアウトカムに対して持つ効果の比較」に基づく。これは、Sarah Baird、Francisco H. G. Ferreira、Berk Özler、Michael Woolcockによるシステムティックレビューである (DOI10.4073/csr.2013.8)。Anne Mellbye (R-BUP) によってこの要約はデザインされ、Tanya Kristiansen (キャンベルコラボレーション) が編集しプロデュースした。

条件が重要なのか？

強く監視と強制が伴う条件がある場合には、金銭的支援はエンロールメントに大きな影響を持つ。明確に条件付きであるプログラムは、コンプライアンスを監視し、コンプライアンスに反するものにはペナルティを与えるものであり、これらはかなり大きな効果を持っている。すなわち、条件のないプログラムにおいては20%に満たないエンロールメントの割合を60パーセントにまで高めるのである (図参照)。

この結果が意味するものは何か？

効率を高めるには、金銭的支援プログラムは教育に関連した条件を持っているべきであり、こうした条件は厳しく監視され強制されるべきである。教育の質が低い状況においては、異なる介入が十分な学習のアウトカムを確かにするために求められる。